

「夜須高原ファミリーキャンプ③」
～絵本に親しむファミリーキャンプ～

- 1 趣 旨 専門家（絵本専門士）による読み聞かせワークショップを導入し、絵本の世界観に思いを馳せ、その後の体験活動においてもものがたりの追体験を実際に行い、絵本の世界に入り込み、より身近に感じることで豊かな感情の醸成を図る。

また、親子共通の体験を通して、親子の絆を深めるとともに、親子間・家族間の交流を図り、体験活動を活用した子育ての効果を実感できるようにする。

- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家

- 3 期 間 令和5年12月16日（土）～17日（日）

- 4 場 所 国立夜須高原青少年自然の家

- 5 参加者 28名（8家族）

- 6 講 師 絵本専門士（九州大谷短期大学准教授）吉柳 佳代子 氏

- 7 活動様子 別紙参照

- 8 感 想

(1) プログラムに関すること

ア 絵本の読み聞かせ

- ・ 絵本がこんなに面白いなんて思いもしませんでした。
- ・ 絵本をいくつになっても楽しんでよいこと、（絵本は）子どもとの会話のツールであること、（絵本を使って）子どもと色々な関わり方ができるのだなと思いました。
- ・ 暖炉の周りでゆったり読み聞かせ、親子ともリラックスできてよい時間でした。絵本の紹介がありがたかったです。

イ 館内散策（※雨天のため、自然散策から館内散策に変更した。）

- ・ 天候があいにくでしたが、館内散策も楽しめました。

ウ クラフト作り（絵本の追体験）

※絵本「じっちょりんのあるくみち」のじっちょりんを夜須高原の自然素材で作る。

- ・ アイテムが充実していて非常に楽しめた。自宅でのワークでも参考にしたい。
- ・ 楽しかった。かわいくできた。

エ バームクーヘンづくり

※絵本「ケーキやけました」の中に出てくるバームクーヘンを絵本のものがたりの追体験として作る。

- ・ 難しかったけど、おいしかったです。
- ・ 時間をかけて一輪ずつ作り贅沢な時間でした。

- ・ 何度か失敗し、3回目でやっとコツをつかめました。ゆとりあるタイムスケジュールで良かったです。

9 事業全体に関すること

- ・ 天候に左右される季節なので、プログラムも大変だと思いますが、工夫していただきありがとうございます。
- ・ たくさんの絵本と触れ合うことができました。子どもが絵本の読み聞かせに意外と集中できていてうれしい発見でした。
- ・ やんちゃな息子と遊んでいただいたり、注意を払っていただいたりして助かりました。
- ・ 初めましての家族とイベントと一緒に楽しめるので、このファミリーキャンプはとてものありがたい。良い雰囲気だなと思いました。
- ・ 家では見られない、生き生きした表情、笑顔をたくさん見ることができました。絵本と文化的な体験もできて、とても素敵な時間でした。大好きな企画です。次回もぜひよろしくお願いします。
- ・ 毎回工夫を凝らして、大人も子供も楽しめるプログラムを企画していただいてありがとうございます。子ども達がとても楽しみにしているし、大人も安心して参加できます。絵本のこともいろいろ話を聞くことができ、今後の絵本選びの参考にさせていただきます。

10 成 果

本事業では、絵本専門士の話に真剣に聞き入る子どもたちの姿や、読み聞かせの意義について理解を深める保護者たちの姿が見られ、絵本の読み聞かせの重要性を認識することができた。

また、森に住む生き物（じっちょりん）や絵本の中に出てきたバームクーヘンを実際に自分たちで作り、絵本の物語の追体験を行うことによって、絵本の世界をより身近に感じる体験ができたと同時に、活動に対する自発性や積極性を高めることができた。

さらに、親子共通の体験を通して、親子の絆を深めるとともに、親子間・家族間の交流を図り、親子で協力して活動することの楽しさを実感することができた。

絵本の読み聞かせと自然素材を使ったクラフト作りや野外炊飯などの活動をつなげた本事業は、子どもの豊かな感情の醸成に寄与したと考える。

11 課 題

参加児童の年齢にあった絵本をバランスよく選ぶ必要があるため、事前の絵本専門士との綿密な打ち合わせの重要性を感じた。

絵本の追体験としての活動について、自然散策や野外炊飯以外にも活動のバリエーションを増やし、参加者のニーズに応えていく必要がある。

限られた予算の中で、様々な工夫をこらしながら、質の高い体験活動を維持・提供し続けていけるように努めたい。

7-1. 絵本の読み聞かせ



7-2. 館内散策



7-3. クラフト作り（絵本の追体験）



7-3. バームクーヘン作り（絵本の追体験）

